



大田区男女共同参画のための情報誌

パステル

No. 132
2024
Winter

巻頭インタビュー

脳科学者

茂木 健一郎さん

特集

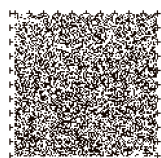
理系分野での
男女共同参画

ひと・まち・カラフル
おおたの窓から

view 7

まつ乃家 栄太郎

Information /
「エセナおおた」に行こう！
相談窓口のご案内



このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」です。コードの位置を示す切り込みを入れています。スマートフォンや専用の読み上げ装置で読み取ると、記載内容を聞くことができます。



脳 科学の視点から、
性別による違い
はありますか？

「女脳・男脳」といった話があるみたいですが、そうした考え方はナンセンスです。脳科学の立場から言わせてもらうと、性別や年齢などによる差よりも、個人差の方がずっと大きいのです。「女性には理系が苦手」や「女性には新しいことに挑戦するのが苦手」といったステレオタイプ(固定観念)は完全に間違っています。科学的根拠がなく、社会的・文化的につくられたものが多いことが明らかです。歴史を振り返ると、世界初のプログラマーであるエイダ・ラブレスや、著名な科学者であるマリー・キュリー夫人、世界初の長編小説を書いたと言われている紫式部など、多くの女性が活躍してきました。

巻頭インタビュー

脳科学者

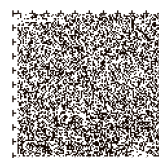
茂木 健一郎さん

Kenichiro Mogi



Profile

昭和37年生まれ。専門は脳科学、認知科学。「クオリア(意識のなかで立ち上がる、数量化できない微妙な質感)」をキーワードとして、脳と心の間を探求するとともに、作家、ブロードキャスターとして幅広く活躍している。令和3年、屋久島おおぞら高等学校の新校長に就任。



性別関係なく理系分野で活躍するために？

現状、日本の理系分野の女性はいまだ少ないけれど、世界的な男女比はだんだんと半々に近づいていると感じています。アメリカのハーバード大学では、理系分野の学生の男女比は今やほぼ同数になっています。当然、女の子でもサイエンスやテクノロジーに興味を

枠にとらわれずに

興味や好奇心を持って

自分らしく生きましようよ！



持つ人はいるし、男の子でも女性が多いとされている職業などに興味を持つ人もいます。そうした興味を大切にしたいです。そして、興味のある分野で活躍するためには、自分の憧れの人を見つけて、追いかけることが良いと思います。ただし、「女性だから女性のロールモデル」という考え方に縛られる必要はありません。男性が女性に憧れても良いし、女性が男性を目標にしても良いのです。自由な生き方に気づけないことはもったいないです。

人を性別で見ないことをこどもの頃から心掛けることもやはり大事だと思います。どうしても、育ってきた環境により「これが普通だ」「こうでなくてはいけない」と無意識に考えてしまうからです。例えば、昔のおもちゃには、男の子や女の子用に

分けられていたものがありました。今は違います。人形一つとっても、様々な人形があります。こどもの頃から遊び方や性の役割、美の定義など、特定のステレオタイプを押し付けられないようにしよう

ということが、世界的な流れになっていっていると感じます。小さなことなのですが、ジェンダーへの意識は、こうやって変わっていくんでしょね。

ジェンダー意識に関して、日本がすべて遅れているというわけでもないと思います。日本の伝統芸能には、性別を超えて役を演じ

る文化が根付いており、ジェンダーの枠にとらわれない表現が長く親しまれてきました。そんな自由な側面はこれからも大切にしていきたいですね。

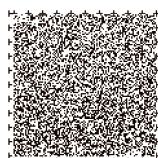
日常のなかで意識を変えていくコツは？

視野を広げれば自由な生き方が実はあるのに、それができない人もたくさんいます。脳科学の観点から言うと、そのような「気づかないこと」に気づくためには、「好奇心」や「興味」がとても

大切なのです。学びは好奇心によって導かれます。ふと思った「なんでだろう？」といった興味関心を追っていけば、自然と道は開けていきます。周りの人たちもそれを応援し、自分たちもそのようにいろいろなことに興味をもって、自分らしく生きていけば良いのです。その背中を見て、それが当たり前で次世代が育っていきますから。

結局のところ、環境や常識は時代とともに変わっていきます。どんどん誰もが好きなことを目指せるようになって、多様な才能が生まれる世の中になっていくと思いますよ。

大切なことはとらわれないこと。考え方を変えることで、未来は良い方向に変わってきます。



特集

理系分野での男女共同参画



理系分野において女性が少ない現状を考える

性別による、向き不向き？

性別によって、得意または不得意はあるのでしょうか。最近の研究によると、空間把握能力は男性が高く、協調性は女性が高いなど、男女の差が認められた分野もありますが、実は、リーダーシップのスタイルや数学の能力などには差がないとされています。しかし、日本の企業

における管理職の男女比は、依然として大きな差があるのが現状です。また、日本は男女ともに数学が得意な人が多い国であるにもかかわらず、理系に進む女性が少ないことが指摘されており、世界的に見ると非常にめずらしいと言われています。能力に男女差はないはずなのに、なぜなのでしょう。その背景には、「女性は数学が苦手、理系に進むと苦勞す

る」などといったネガティブな固定観念が働き、パフォーマンスの低下を招いているのかもしれませんが、実際、「女性は数学が苦手」だと思いう母親の娘ほど理系進学率が低いという調査結果も出ています。また、理系は男性が多いという現状や「男は理系、女は文系」という思い込みにより、思春期を迎えた女子生徒が男っぽく見られるのを嫌って、理系科目に苦

手意識を持つことも推測されます。女性を取り巻く環境を変えていくには、社会全体のジェンダー観のアップデートが不可欠だと言えます。



世界を変えた50人の女性科学者たち

レイチェル・イグノトフスキー 著
野中 モモ 訳
(創元社)



科学・技術・工学・数学(STEM)の分野で素晴らしい業績を残した女性科学者50人を、チャーミングなイラストとともに紹介しています。

ジェンダーと脳

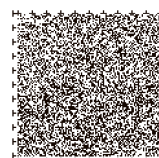
性別を超える脳の多様性
ダフナ・ジョエル、ルバ・ヴィハンスキ 著
鍛原 多恵子 訳
(紀伊國屋書店)



神経科学者が、科学的、具体的な事例を挙げて、性別とジェンダーに対する固定観念を多角的な観点から考察しています。

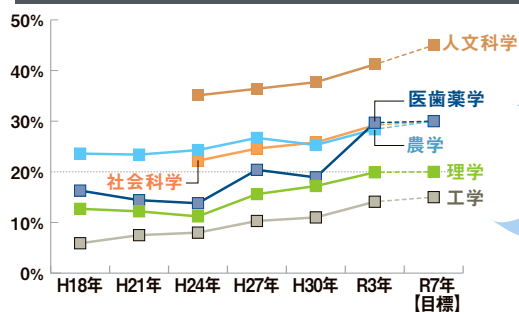


パステル
おすすめ本



大学の研究者採用に占める女性の割合の推移(学部ごと)

資料:男女共同参画局「令和6年版男女共同参画白書」より抜粋



多くの分野において
年々増加傾向

工学、理学分野の
女性割合は以前として低い

令和7年目標

人文科学 45%

医歯薬学

農学

社会科学

理学 20%

工学 15%

女性研究者の現状 と直面する課題

国の第5次男女共同参

画基本計画では、大学の理系研究者の女性割合を向上させることを目標としています。大学の理系研究者の女性割合は、多くの分野で上昇傾向にあります。

しかし、大学の理系研究者における女性割合は依然として低く、工学・理学分野では2割以下に留まっています(上図)。固定観念が女性の進路選択に影響していると言われており、本人が研究者になりたいと考えていても、親や親戚から「研究は男の世界」などと言われて、諦める女性も少なくありません。

さらに、研究者の多くを男性が占める現状において、無意識の偏見によって女性研究者が実力を発揮することが難しい現状があ

ります。例えば、執筆者が女性の名前だと、論文の査読が遅くなったり、厳しく審査されたりする、あるいは研究会で女性研究者が手を挙げても当てられなかったり、後回しにされたりするなど、女性であることによる不利益が生じるケースがあるようです。

研究現場への女性 参画で社会はど のように変わるのか

研究現場で多様性が保たれることは、多角的な方面から創造性と深い洞察を与え、新たな発見を広げることができると言われています。実際、多様性が研究の発展につながることは、データでも実証されており、男女両方の発明者があるチームの方が、男性だけのチームよりも特許件

数や特許の経済価値が高いという調査結果があります。性別に関係なく多様な視点を持つことで、より深い洞察や新たな発見が生まれることが関係していると考えられます。

現在、女性研究者が能力を発揮できる環境づくりに向けて、学生や教員の募集に「女性枠」を設ける動きが、全国の理系大学を中心に広がっています。また、国では、女子中高生・女子学生の理工系分野への進路選択を応援する「理工チャレンジ リコチャレ(7ページ参照)」という取り組みを行っています。女性の理系進出が進むなど、性差ができてしまっている領域が減っていく、一人ひとりの個性や興味を尊重する選択が当たり前になっていくことが、誰もが輝ける未来社会をつくり出すための鍵となります。

アンコンシャス・バイアスを 払拭して女子生徒の 理工系進路選択を 応援しよう

(内閣府男女共同参画局
公式YouTube)

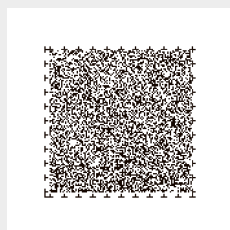


こちらを
チェック



女子生徒の理工系進路選択を阻害する可能性のある、無意識の思い込みに気づくための動画です。学校や家庭などの事例に基づきながら紹介しています。

プラスアルファ 見て学ぶ



ひと・まち・カラフル

おおたの窓から

地域であざやかに活躍する「ひと」。

十人十色のひとが調和する「まち」。

おおたの窓を開けると、飛び込んでくるのは、いきいき、カラフルな地域の風景です。

view
7

まつ乃家 栄太朗 えい た ろう



二代目女将 栄太朗 さん

伝統文化を守ることへの
思いを教えてください。

かつて花街としてにぎわっていた「大井海岸」を盛り上げるため、日本で唯一の女形芸者として活動しています。母が元々この街で女将をしており、10歳の頃からお座敷に立つ機会がありました。22歳の時に母が他界し、女将として跡を継ぐことになったのです。当初は生活のためにという心持ちで活動していましたが、コロナ禍を経て、「伝統文化は、自然に続くわけではない」と痛感したのです。そして、多くの人々の目に触れることが、次世代に文化を残すために大切だと考え、活動するようになりました。メディア発信や海外での活動など、羽田空港のある大田区だからこそ、インバウンドに向けた活動にも力を入れていきます。区民の皆さんに「こんな



人が近くにいるんだ」と知ってもら

うことで、少しで

も地域、伝統に目を向けてもらうきっかけや勇気を与えられたらと思っています。

男性の芸者としての活動を教えてください。

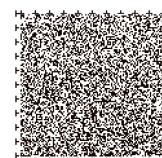
注目される反面、自分がマイノリティの立場だと感じる場面は多々あり、女将になったばかりの頃は、「女性らしくしなければいけない」と無理もしていました。しかし、次第に気づいたのは、芸者としてお座敷に呼ばれるということは、お客様が自分にしかできないものを求めているのだということ。今では、自分らしさを大切に、自身が持つ個性と魅力を通じてこの文化を発展させたいと考えて



My Favorite View

おおとり
大森 鷺神社

芸者衆のお稽古をする場所として使わせていただいています。どんどんお稽古をする場所が減ってきてしまっているなか、こうした地元の方々のサポートはとてうれしく、大切にしていきたいと感じています。(まつ乃家 栄太朗)



デートDV防止啓発 クリアファイルを配布しています

デートDV防止・啓発のため、クリアファイルを作成しました。「デートDVチェックリスト」も掲載されています。ご希望の方は、エセナおおた事務室までお声がけください。



展示「STOP DV」を 開催しました

11月12日から25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。この期間に合わせ、大田区は、JR大森駅歩道橋にて、「STOP DV」の展示を行いました。



進路選択における性別による 「無意識の思い込み」普及啓発動画

東京都は、性別による無意識の思い込みにとらわれず、幅広い可能性から進路選択することを応援するため普及啓発動画を作成しています。公式Youtubeには、他にもショート動画などに「女性デジタル人材動画」など気軽に学べるさまざまな動画を公開しています。



東京の未来の働き方推進事業

東京都では、多様で柔軟な働き方の実現に向け、積極的に取り組む企業を「東京サステナブルワーク企業」として登録しています。これから取り組んでいく企業には、専門家を派遣し、テクノロジーを活用した生産性の高い新しい働き方の実現を支援します。その他、未来の働き方について考えるフォーラムやTokyo Future Work Awardを開催しています。



「リコチャレ」を ご活用ください

理工系分野に関心のある女子中高生・女子学生の進路選択(理工チャレンジ)を応援する取り組みです。理工系分野が充実している大学・企業の紹介やイベント情報等が掲載されています。



「令和6年版男女共同参画白書」が 公表されました

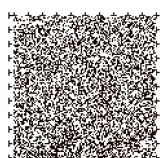
「男女共同参画白書」では、男女共同参画社会の形成の状況に関する実態がまとめられています。特集は「仕事と健康の両立～全ての人が希望に応じて活躍できる社会の実現に向けて～」です。



今号の
キーワード

ガラスの天井

女性やマイノリティが職場で昇進しようとするとときに直面する、見えないけれど実際に存在する障壁のことです。企業や組織などの管理職に女性が少ないのは、この「ガラスの天井」が理由の一つとされています。能力や努力があっても、これが原因で高い役職に進めないことがあります。この「ガラスの天井」をなくし、誰もが平等にチャンスを得られる社会を目指すことが大切です。



「エセナおおた」に行こう！

エセナおおたは、
男女共同参画社会の実現を目指す活動拠点施設です。
講座・講演会の開催、情報収集・発信、
交流の場の提供などを行っています。

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」
〒143-0016 大田区大森北4-6-7
大森北四丁目複合施設（スマイル大森） 5階・6階
TEL:03-3766-4586 FAX:03-5764-0604



JR大森駅東口より徒歩6分。
一般用の駐車場はありません。



二次元
コードから
アクセス

RENEWAL OPEN

エセナおおたは、移転しました

エセナおおたは、昭和52年に「婦人会館」
として設立後、単館施設として運営してきま
したが、令和6年12月に、大森北四丁目複
合施設（スマイル大森）へ移転しました。

12月1日には、オープニングイベントを開
催し、多くの皆様にお越しいただきました。

より親しみのある施設運営を目指してま
いりますので、新しくなったエセナおおたへ、
ぜひお越しください。



相談窓口のご案内

相談無料、秘密厳守

相談内容	TEL	相談日時	
女性のための たんぼぼ相談	03-3766-6581	月・金……………10:00～13:00 火・木……………13:00～16:00 水……………18:00～21:00 土……………13:00～19:00 (年末年始を除く) ※相談受付は終了時間の30分前まで	詳細内容は 二次元コードから アクセス 
DV相談ダイヤル	03-6423-0502	月～金……………9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)	詳細内容は 二次元コードから アクセス 
男性相談ダイヤル	03-6404-6020	第2・4金曜日 17:00～20:00 (祝日・年末年始を除く) ※相談受付は終了時間の30分前まで	

※臨時休業や時間変更など最新情報は、大田区ホームページでご確認ください。

編集・発行／
大田区 総務部 人権・男女平等推進課
〒144-8621 大田区蒲田5-13-14
TEL:03-5744-1610 FAX:03-5744-1556
令和6年12月発行



過去のバックナンバーは
大田区ホームページに掲載しています。
ご意見・ご感想もこちらの
ホームページからご入力いただけます。

